

令和3年度 学校図書館基本計画

足立区立花保小学校 校長 半田 英雄

1 学校教育目標

- 心豊かで思いやりのある子ども
- 自ら進んで考え、工夫する子ども
- 健康でねばり強い子ども
- たがいに協力し、進んで実行する子ども

2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- 幅広く読書に親しみ、様々な知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることができる力を育てる。
- 様々な活動や学習を通して、読書に興味をもち、日常的に読書に親しむ態度を養う。
- 探究的な学習の目的に応じて、主体的に必要な情報を幅広く収集し、選択し、課題を解決する能力を育てる。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,089冊（蔵書基準冊数 10,878冊）／ 蔵書率 101%									
	② 新規購入図書 433冊 / 廃棄図書 448冊 / 増減冊数 -15冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	6%	6%	10%	5%	3%	8%	4%	55%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%

利活用の状況

- ① 開館時間：授業時、2時間目と3時間目の業間休み、昼休み
学校図書館支援員の勤務日の月曜日、木曜日は放課後も開館
- ② 児童一人あたりの年間貸出冊数 29冊（前々年度：25冊）
- ③ 1か月に2冊以上読む児童 44%

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年

- 易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書をしたり、読み語りを聞いたりする態度を育てる。
- 学校図書館の利用方法を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。

今年度の成果目標

- ①学校図書館を利用し、本を借りて読書することができる。
- ②担任や学校図書館支援員の読み語りを楽しんで聞くことができる。
- ③学校図書館オリエンテーションを通して、学校図書館の利用方法を知ることができる。

達成基準

- ①読書カードを活用し、月間一人当たり10冊を80%以上の児童が達成する。（担任や学校図書館支援員の読み語り含む。）
- ②各クラス月2回以上、学校図書館を利用した読書、読み語り等の授業を行う。
- ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。

第2学年

- いろいろな読み物に興味をもち、知りたいこと、読んでみたい内容から本を選び、楽しんで読書をしたり、読み語りを聞いたりする態度を育てる。
- 学校図書館の利用方法を確実にし、きまりを守って利用する態度を育てる。

今年度の成果目標

- ①自分の興味のある本を選んで、読書することができる。
- ②担任や学校図書館支援員の読み語りを楽しんで聞くことができる。
- ③学校図書館オリエンテーションを通して、学校図書館の利用方法を確かめ、きまりを守って利用することができる。

達成基準

- ①読書カードを活用し、月間一人当たり10冊を80%以上の児童が達成する。（担任や学校図書館支援員の読み語り含む。）
- ②各クラス月2回以上、学校図書館を利用した読書、読み語り等の授業を行う。
- ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。

第3学年

- いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。
- 進んで学校図書館を利用する態度を養い、課題解決に向けて、資料や情報を集めて活用できるようにする。

今年度の成果目標

- ①自分の興味のある本だけでなく、学習に関連する本についても読書することができる。
- ②事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめることができる。
- ③学校図書館オリエンテーションを通して、本のグループ分けや配置について理解する。また、課題解決に必要な本などを選んで読書することができる。

達成基準

- ①読書カードを活用し、月間一人当たり200ページを70%以上の児童が達成する。
- ②各クラス月2回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。
- ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。

第4学年	○いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。 ○進んで学校図書館を利用する態度を養い、課題解決に向けて、多様な資料や情報を集めて活用できるようにする。
今年度の成果目標 ①自分の興味のある本だけでなく、学習に関連する本についても読書することができる。 ②事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ③学校図書館オリエンテーションを通して、本のグループ分けやラベルの見方、配置について理解する。また、課題解決に必要な本などを選んで読書することができる。	達成基準 ①読書カードを活用し、月間一人当たり200ページを70%以上の児童が達成する。 ②各クラス月2回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。 ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。
第5学年	○適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広げようとする態度を育てる。 ○進んで学校図書館を利用する態度を養い、目的に応じて、計画的に資料や情報を集めて、適切に活用できるようにする。
今年度の成果目標 ①興味のある事柄について、適切な本や新聞などを選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ③学校図書館オリエンテーションを通して、日本十進分類法について理解する。また、請求記号を手がかりにして、目的に応じて、必要な本などを選んで読書することができる。	達成基準 ①読書カードを活用し、月間一人当たり300ページを70%以上の児童が達成する。 ②各クラス月1回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。調べる学習コンクールに全児童が参加する。 ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。
第6学年	○適切な読み物を選び、読書を通して自分の考えを広げようとする態度を育てる。 ○進んで学校図書館を利用する態度を養い、目的に応じて、計画的に資料や情報を集めて、適切に活用できるようにする。
今年度の成果目標 ①興味のある事柄について、適切な本や新聞などを選び、読書することができる。 ②複数の本や新聞などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。 ③学校図書館オリエンテーションを通して、日本十進分類法について理解する。また、請求記号を手がかりにして、目的に応じて、必要な本などを選んで読書することができる。	達成基準 ①読書カードを活用し、月間一人当たり400ページを70%以上の児童が達成する。 ②各クラス月1回以上、読書や調べ学習などの授業を学校図書館や図書館資料を活用して行う。調べる学習コンクールに全児童が参加する。 ③学校図書館支援員による学校図書館オリエンテーションを全学級実施する。

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- 児童情報の更新を4月初旬に行い、4月中旬から学校図書館を利用できるようにする。
- 図書購入予算が明らかになったら、国が示す蔵書構成割合や児童と教職員のニーズに応じた新規購入図書の計画を2か月以内に行う。
- 区が示す基準に沿った図書の除籍、廃棄、更新を計画的に行う。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- 学校図書館支援員と連携し、4、5月中に学校図書館オリエンテーションを全学級実施し、児童が学校図書館の利活用の方法を確実に理解できるようにする。
- 季節や行事に関する推薦図書の展示、読み語りやブックトーク、調べ学習や授業に必要な資料の収集について学校図書館支援員と情報交換をしながら実施する。
- 学校図書館支援員の勤務日は、学校図書館を全日開館し、可能な限り児童の利活用を促す。

【その他】

- 図書を全学年常時2冊貸し出しし、長期休業期間中は、4冊まで貸し出し可能とする。